

学習のねらい

- 「田原本町ふるさとかるた」からの学びを「校区のかるたづくり」に生かす探究的な学習を通じて、歴史、文化、観光、自然、作成者の願いなど多面的な視点から掲載対象の価値が分かるとともに、それらを総合して町のよさに対する概念を形成する。
- 「田原本町ふるさとかるた」の内容を人物、時代、祭祀などで分類したり、総合的にまとめ直したりしてかるたの選定条件を考察するとともに、獲得した学び方や知見を生かし独自の校区かるたを作成し、全校かるた大会を開催する。
- 「田原本町ふるさとかるた」から「校区のかるたづくり」に至る一連の探究活動に主体的・協働的に取り組むことを通じて、校区のよさを受け継ぎ広めていこうとする態度や校区を愛する心を育む。

郷土の資源について

田原本町では、郷土学習の一環として「田原本町ふるさとかるた」を町内の小学生に配布している。

40枚の札は、遺跡や歴史上の人物にゆかりのある寺社、今に伝わる祭祀や天然記念物の大樹、また町民の学びや憩いの場である施設や公園など多面的な視点から選定され、歴史と文化のふるさと「田原本」を実感することができる。また、掲載対象の調査・分析から選定条件を考察したり、かるたの作成者と対話したりすることを通じて、対象の価値に気付くとともに、「町のよさを受け継いでほしい」という作成者の願いに共感しながら地域への愛着を深めることができる。また、その学びを「校区かるた」の作成につなげ、在校生に発信することで思いを受け継いでいきたい。

学習指導要領上の位置付け

第5章 第2 3 (5) 地域の人々の暮らし、伝統や文化など地域や学校の特徴に応じた課題

学習の流れ

1. 田原本町ふるさとかるたの特徴を調べる。 **7 時間**
2. 小学校区のふるさとかるたをつくる。(本時6・7/17) **17 時間**
3. 全校かるた大会をする。 **4 時間**
4. 学習を振り返る。 **2 時間**

展開例（本時 13・14/30）

	学習活動	指導上の留意点（※評価規準）	備考
導入	○前時までの活動（一人一人がかかるたにしたい校区内の対象について調べ、関連する情報ごとにまとめ、図に整理する）を振り返り、本時のねらいを確認する。		
	調べて分かったことを発表し、友達の意見も参考にして読み札と絵札にする内容を決定しよう。		
展開	○かかるたにしたい対象について調べた内容及びその中から特に読み札や絵札にしたい内容を一人一人発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 対象に関するいくつかの内容から実際に読み札や絵札にする内容を自己決定するために意見交流することを確認する。 発表内容がより伝わるように、発表者には対象について関連する情報ごとに整理した図（整理図）を電子黒板に投影させ発表させる。 発表内容を分かりやすくするために、発表者の整理図をグループに配布し確認させる。 	PC、電子黒板 各自の整理図
	○発表内容を基にグループで意見交流する。	<ul style="list-style-type: none"> 多面的に考察できるように、各グループの意見は付箋にまとめ、各自の整理図に貼付させる。 意見内容の違いがわかるように付箋の色を変える。 〔賛成意見…ピンク色、追加意見…水色 新たな情報…緑色〕 	各自の整理図
	○読み札や絵札にする内容を決定する。	<ul style="list-style-type: none"> 最も受け継ぎたい内容について、他グループからの意見も踏まえ自己決定するよう確認するとともに、ワークシートへの記入により自分の考えを整理させる。 ※他者の意見も踏まえ、多面的に考察しながら札の内容を吟味し選定している。	ワークシート
まとめ	○本時の学習課題について振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 下記事項の観点から本時の達成状況を振り返らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> できたことや頑張ったこと 難しかったこと 参考となった友達の意見 </div>	振り返りシート